

なすからすやま

No.158

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



鳥山城跡に行ってみよう！.....	2
市民運動会.....	8
小学校・幼稚園・保育園の運動会.....	10
さつまいも掘り.....	11
伝統芸能を奉納.....	13
鳥山図書館まつり.....	14
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム...	15
まちのわたい.....	16
インフォメーション.....	18
鳥山高校の紹介・ジオパーク構想だより...	20

November
2018

いっばい癒れたよ (10月9日 つくし幼稚園)

烏山城跡に 行ってみよう！ ～築城600年を迎えて～

今年、築城600年を迎えた烏山城。みなさんはもう行きましたか？
今月号では、烏山城の歴史や見どころ、記念イベントの様子などを紹介します。

正保城絵図 下野国烏山城絵図。(部分)
独立行政法人国立公文書館所蔵

烏山城の

歴史・立地・カタチを学ぼう

烏山城の歴史

烏山城は応永25年(1418)、那須一族の沢村五郎資重によって築城されたと言われています。それ以後、天正18年(1590)に当主那須資晴が、小田原遷参を理由に豊臣秀吉によって改易されるまで那須氏の居城となりました。

その後、織田氏、成田氏、松下氏、堀氏、板倉氏、那須氏、永井氏、稲垣氏と頻繁に城主の交代が行われ、万治2年(1659)、時の城主であった堀親昌により、城の東山麓に城主の新たな居館(三の丸)が築かれ、以後の藩政機能は三の丸に移ることになりました。享保10年(1725)譜代大名の大久保常春が近江国(滋賀県)より移封され、その後8代、約140年にわたって大久保氏が城主になりましたが、城は明治を迎え廃城となりました。

烏山城の立地

烏山城は、八高山(標高206メートル)と呼ばれる喜連川丘陵の一支脈である独立丘陵頂部を中心として築かれた山城です。東から南側は、那珂川と河岸段丘が天然の城壁と堀の役目を、西側は、江川が堀の役目を果たしています。そして、周辺の丘陵や河岸段丘

上に砦や支城を置くことにより、烏山城全体の防御力を高めていました。

烏山城のカタチ

烏山城は、中世から近世にかけて使用されてきたため、西側の古い造りが残る部分と、東側の近世城郭の思想や技術が入り入れられた部分があり、中世の城と近世の城の2つを1度に楽しめるのが特徴です。

東西に約350メートル、南北に約600メートルの範囲に五城三郭(本丸、古本丸、中城、北城、西城、常盤曲輪、若狭曲輪、大野曲輪)と呼ばれる曲輪群が存在しています。本丸、古本丸と市街地との高低差は約100メートルあり、曲輪群の周囲には堅堀、横堀、堀切、土塁などが設けられ、本丸周辺には石垣を築くなど堅固な城を形成しています。

特に東側は、急斜面となり、鎧などの武器を着用して登ることは困難です。一方西側は、丘陵が続く防御上の弱点に見えますが、土塁や堀が迷路のように張り巡らされ、敵が簡単に侵入できないように工夫されています。

このように、烏山城は、周囲の地形を巧みに利用した要害の地を選んで築城された「実戦の城」であることがよく分かります。

烏山城築城600年記念イベント 春風亭昇太師匠が烏山城を語る

今年、築城600年を迎えた烏山城の価値や魅力を多くの人に知ってもらおうと、10月14日(日)、烏山城築城600年を記念したイベントが開催されました。

七曲口から出発する烏山城見学ツアーでは、県内外から抽選で選ばれた120人が3班に分かれ、市文化振興課学芸員などによる城郭の説明を熱心

に聞きながら、約1時間半かけて石垣や礎石、土塁などを見学しました。

ツアーに参加した阿部由紀さん(日光市)は、「ツアーに参加して歴史的背景などを詳しく聞くことができ、とても勉強になりました。次回は、回りきれなかったところにも挑戦したい」と話していました。

烏山高校金井キャンパス体育館でのイベントには、約1000人が訪れました。第一部の「文化のつどい」では、烏山山あげ保存会による今年の山あげ

祭の主芸題にもなった「将門」の公演や、烏山語りの会により、烏山城にまつわる民話が披露されました。また、市民有志でつくる烏山線桜並木鉄道大伴戦実行委員会により、市内の小中学生を対象に作品を募集した「烏山城築城600年記念烏山線アキユム絵画コンテスト」の表彰式が行われ、応募総数633件の中から入選した25人に表彰状と記念品が贈られました。

第二部の「記念講演」では、落語家で城郭愛好家の春風亭昇太師匠と城郭ライターの萩原さちこさんによるトークライブや、烏山高校まちづくり研究会の生徒による烏山城の研究発表、第二部出演者と記念イベント実行委員会委員長の川俣純子市長による対談が行われました。また、師匠とのジャンケン大会も行われ、8人の勝者に春風亭昇太師匠のサイン本や色紙などがプレゼントされ会場は大いに盛り上がりました。

イベントに参加した毛塚芳彦さん(栃木市)は、「講演会で烏山城の解説が聞けてとてもためになった。まだ烏山城を見学できていないので、ぜひ、訪れてみたい」と話していました。

また、この日は、烏山城に所縁のある「天性寺」「泉溪寺」「寿龜山神社」「宮原八幡宮」の4寺社を巡る特別企画「御朱印巡り」も開催され、3寺社以上巡った約80人に、本市オリジナルのノベルティがプレゼントされました。



春風亭昇太師匠によるじゃんけん大会。



春風亭昇太師匠と萩原さちこさんによるトークライブ。



烏山山あげ保存会による「将門」の公演。



市地域雇用創造協議会が開発した新商品の販売。



アキユム絵画コンテストの表彰。



烏山城見学ツアーでの石垣の説明。

鳥山城築城600年記念

関連イベントあれこれ

築城600年を記念し、市民まつりや奉仕作業などが市内各地で行われました。いくつかの様子を紹介します。

ランタンと花火が秋の夜空を彩る

那須烏山市民秋まつり

10月13日(土)、鳥山城築城600年記念イベントの前夜祭となる「2018那須烏山市民秋まつり」が保健福祉センター1周辺で開催され、約4000人の来場者でにぎわいました。

当日は、和紙を使った「空飛ぶランタン作り体験」が行われました。体験は、受付開始前から行列ができ、100

人分の整理券の配布が約10分で終了する人気ぶりで、親子連れなどが思い思いの絵を描きました。完成したランタンは、保健福祉センター前に設置され、日が沈むとオレンジ色の淡い光が幻想的に浮遊し、訪れた人々を楽しませました。その後、約2000発の記念花火が打ち上げられ、秋の夜空を彩りました。



花火を鑑賞する地域住民。

シルバー人材センター会員が 清掃活動でおもてなし

シルバー人材センターでは、地域の美化活動を推進しようと「シルバー人材センター普及啓発月間」に合わせ、毎年市内の奉仕作業を行っています。

今年も、記念イベントで鳥山城を訪れる人々に気持ちよく過ごしてもらおうと例年より時期を早め、10月6日(土)に開催しました。

当日は、鳥山地区38人、南那須地区47人の同会員が、南那須公民館から市役所南那須庁舎周辺や清水川せせらぎ公園周辺の草刈りなどを行いました。



ランタンに絵を描く子どもたち。

野州八咫鳥の会が

八咫鳥神社と鳥山城の案内板を建立

野州八咫鳥の会(中村彰太郎会長)は、向田の熊野神社境内に八咫鳥を祀る撰社の「八咫鳥神社」を建立し、10月13日(土)に落成式を行いました。

野州八咫鳥の会は、今年1月に、市内の企業や団体などの関係者らが設立したもので、現在の会員数は64人となっています。市内の歴史や文化を子どもたちに伝えていくとともに、鳥山城の歴史的价值を観光資源として活用する手段を模索し、市の発展を目指すことを目的に活動を行っています。

社は、熊野神社境内の西側に建立

野州八咫鳥の会(中村彰太郎会長)は、向田の熊野神社境内に八咫鳥を祀る撰社の「八咫鳥神社」を建立し、10月13日(土)に落成式を行いました。同会では、8月から募った寄附金は、予想を上回る多くの寄附が寄せられました。

また、同日、市役所鳥山庁舎北側駐車場に設置された鳥山城跡の案内板の除幕式も行われました。八咫鳥のモニュメントがあらわれた案内板には、鳥山城の歴史や下野国鳥山城絵図などが紹介されています。

中村会長は、「今後、那須烏山市を全国の人に知ってもらい、交流人口の増加につながってほしい」と話していました。



清掃を行う会員。



駐車場に設置された鳥山城跡の案内板。

また、落成式と除幕式では、「音の旅人くみ∞せい」が作詞作曲した、「鳥山城築城600年記念ソング」が披露されました。

記念イベントと合同開催！

商工会まつり&軽トラ市

10月14日(日)、那須烏山商工会による「第11回商工会まつり」と「スー爺サンタの軽トラ市」が、山あげ会館周辺で開催され、約5,000人が訪れました。

会場では、烏山城築城600年記念カードの配布が行われたほか、野州烏山城下町太鼓や烏山高校吹奏楽部による演奏、日本舞踊、ビンゴゲーム大会など様々な団体によってステージイベントが行われました。また、模擬店では、手づくりパンや石窯焼ビザ、わたあめなどが販売されました。恒例の「ミニアキュム乗車体験」では、順番を待つ親子連れで長蛇の列ができていました。そのほかにも、抽選会やもちまき、デザインプルアー



様々な団体によりダンスや演奏が行われたステージ。

ト体験教室など多彩な催しにより会場は盛り上がりを見せました。軽トラ市では、農産物や飲食物、ハンドメイド雑貨などの販売が行われ、にぎわいを見せました。



大勢の人が参加したもちまき。



毎年大人気のミニアキュム乗車体験。

烏山城やジオパーク構想など… 市の文化を発信する インスタグラムやってます！

市文化振興課では、公式インスタグラムを運営しています。築城600年を迎えた「烏山城」のほか、大地の成り立ちを知る「ジオパーク構想」、ユネスコ無形文化遺産に登録された「烏山の山あげ行事」など、たくさんの魅力ある那須烏山市の文化を発信していますので、ぜひ、ご覧ください。



【閲覧方法】

インスタグラムのアプリから検索

↓@nasukaru6224

インターネットから検索

↓instagram nasukaru6224



漫画冊子「烏山城築城物語」。

那須烏山経友会が

烏山城を紹介する漫画を作製

築城600年を迎えた烏山城を紹介しようと、足利銀行烏山支店や同支店取引先企業で組織される那須烏山経友会では、烏山城を紹介する漫画冊子「烏山城築城物語」を作製しました。イラストはTBC学院小山校の学生が担当し、市内の民話をまとめた書籍を基に、

烏山城誕生のきっかけなどが描かれています。1万2000部発行された冊子は、14日に開催された築城600年記念事業や那須烏山商工会まつりでの配布をはじめ、同商工会の会員店舗や同銀行の県内本支店などで配布されています。



烏山城のシンボリックな石垣は常盤曲輪石垣（吹貫門脇石垣）です。この石垣は、地元産の自然石をあまり加工せずに積み石として用いられており、目地の隙間も広く、小詰石も少ないですが、石が動く余地のないように組み合っています。石垣の高さは、最も状態のいい部分で3メートルあり、扇のような反った勾配はなく直線的です。常盤曲輪の大手道に面し、吹貫門跡から約30メートルにわたり現存しています。

七曲口はその名の通り、七回曲がる箇所があります。つづら折りで道幅が狭く、大軍勢で攻められても、細い隊列になり、守備側が有利になるよう道が作られています。

烏山城跡を探索しよう！

烏山城について学んだら、実際に登ってみましょう。今回は初めてでも登りやすい寿亀山神社（七曲口）の横から登る七曲口からのコースを紹介します。みなさんもぜひ、烏山城を攻略するつもりで進み、お楽しみください。

七曲口からのコースは往復で1時間半から2時間ほどの所要時間となっていますのでみなさんもぜひ、チャレンジしてください！



●寿亀山神社



烏山城を見学する場合の注意点

烏山城はれっきとした山城です。見学する場合には、動きやすい服装で見学してください。また、季節や時間帯によっては一部足元の滑りやすい場所がありますので、注意してケガなどの無いよう、楽しく登ってください。



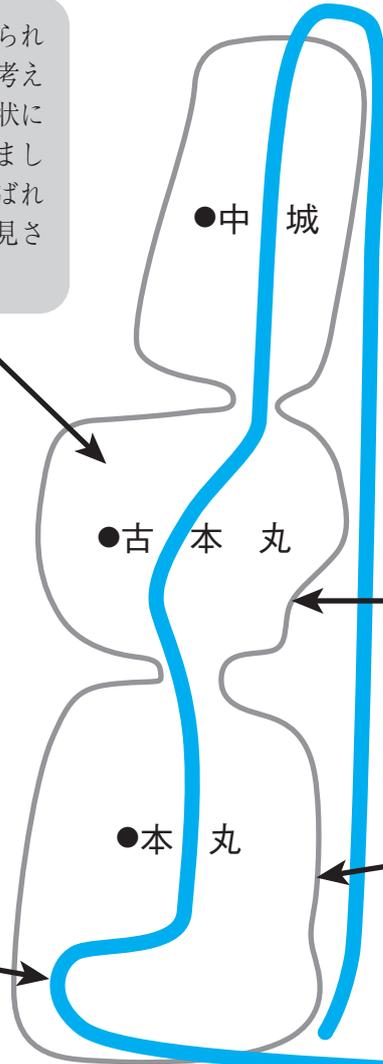
西から東側には、土墨が見られます。調査によって、排水を考えて、砂利、砂、土、粘土が層状に積まれていることが分かりました。また、「かわらけ」と呼ばれる素焼きの皿が100枚近く発見されています。



正門から本丸内部の平坦面に至る通路は、右に2回曲がり緩やかな勾配で、調査により階段も確認されています。この空間は本丸の内枳形とも呼ばれます。絵図は、江戸時代に描かれた烏山城の正保城絵図の一部で、石垣と土堀に囲まれ、敵兵を内部にとどめる空間が描かれています。



途中には、矢穴跡が残る大きな石があります。矢穴とは、石を割るためにつけられた人工的な穴のことをいい、この穴にくさびを入れて石を切り出していたそうです。



中城からは、北側に設置された階段を下り、主郭の搦手門である桜門を通ります。搦手門とは、正面に対して開かれる裏手の門のことです。有事の場合に、城主が城外に逃げられるよう、少人数で守れる小型に設計されていることが多いそうです。

那珂川の見える東側には、横矢という、城壁に迫った敵に対して側面から攻撃する構造が見られます。正面の防御だけではなく、敵の側面を突くことで有利に防御できる構造となっていて、「横矢を効かせる」「横矢掛け」などと使われます。

本丸には、石列や礎石などがあり、敵が最短距離で移動できないように障壁を設けていたことや複数時期の建て替えが推測でき、当時の様子を思い浮かべながら見学できます。

車橋跡は現在、橋はありませんが、「車橋」という呼び名から、当時、下に車輪がついた引き橋がかけられており、敵が攻めてきた場合には橋を引き外し、侵入を防いでいたと想像できます。



烏山地区は横枕、 南那須地区は藤田が優勝！ 市民運動会



5



3



1



6



4



2



7

第14回那須烏山市市民運動会が、10月7日(日)、烏山地区と南那須地区で開かれ、約1300人の市民がさわやかな汗を流しました。大桶運動公園を会場に行われた烏山地区の運動会では、自治会や旧大字単位に分かれた8チームが、緑地運動公園で行われた南那須地区の運動会では、支部ごとに分かれた12チームが熱い戦いを繰り広げました。

盛り上がりみせた両地区の運動会を写真で紹介します。結果は次のとおりです。()内は総合得点

■烏山地区
 ①横枕(47点) ②興野(41点)
 ③野上(36点) ④大桶・白久(34点)
 ⑤日野町(30点) ⑥神長(28点)
 ⑦金三(26点) ⑧金井(23点)

■南那須地区
 ①藤田(44点) ②中央南(35点)
 ③八ヶ代(32点) ④川井(31点)
 ⑤三箇(26点) ⑤中央北(26点)
 ⑤南部(26点) ⑧こぶし台(24点)
 ⑨志鳥(22点) ⑩鴻野山(21点)
 ⑪曲畑(20点) ⑫熊田(19点)

◇ また、開会式では平成30年度那須烏山市体育協会表彰も行われ、スポーツ振興などに貢献した市民に表彰状などが贈られました。受

賞者および功績は次のとおりです。

■体育協会表彰者(敬称略、()内は、住所・功績)
 ▼感謝状：松本武(下境・市体育協会の要職にあり、永年にわたり活躍)
 ▼体育功労賞：森井國廣(旭・市体育協会グラウンド・ゴルフ部部长、烏山支部グラウンド・ゴルフ愛好会会長として永年にわたり活躍)
 ▼体育奨励賞：大和勝夫(初音・市スポーツ少年団本部長で、永年にわたり那須烏山クラブスポーツ少年団指導者および代表として指導育成を行い地域における青少年のスポーツ活動の推進に尽力)

▼優秀選手賞
【剣道】小田弘(旭・第31回全国健康福祉祭とやま大会栃木県予選会剣道競技65歳以上の部優勝)
【レスリング】高森勇斗(中山・JOCジュニアオリンピックカップ/2018年度全日本ジュニアレスリング選手権大会第8位、平成30年度栃木県高等学校総合体育大会/第64回関東高等学校レスリング大会県予選会フリースタイルグレコローマンスタイル92kg級第1位など)

【陸上】渡邊寛之(南・平成30年度栃木県高等学校総合体育大会陸上競技男子やり投げ第1位)・犬



14



8



15



12



9



16



13



10

○(白丸)…烏山地区／●(黒丸)…南那須地区
 ①紅白玉入れは大人数で出たもの勝ち ②ボールを落とさないよう
 気をつけて ③全速力 ④ゴール!!! ⑤息ピッタリのムカデ競争
 ⑥軽やかにジャンプ ⑦元気に選手宣誓 ⑧スタートダッシュ
 ⑨人間輪投げ競走 ⑩焦らずこぼさず ⑪息を合わせて二人三脚の
 スタート ⑫どの目が出るかな? ⑬狙いを定めて ⑭バトンタッ
 チ ⑮湧水リレーは慎重に ⑯おみやげなあに?



11

飼真緒(興野・平成30年度第59回
 栃木県高等学校学年別陸上競技大
 会1年女子走幅跳第1位)・田島
 駿(中山・平成30年度第71回関東
 高等学校陸上競技大会/秩父宮賜
 杯第71回全国高等学校陸上競技対
 校選手権大会北関東予選会男子砲
 丸投第2位)
【登山】板橋歩貴(藤田・平成30
 年度全国高等学校総合体育大会登
 山大会県予選会兼第62回全国高等
 学校登山大会県予選会兼第62回関
 東高等学校登山大会県予選会矢板
 東高校登山部優勝)
【空手道】大輪莉央奈(下境・第
 37回栃木県空手道錬成大会小学5
 年女子組手優勝、第14回栃木県ス
 ポーツ少年団空手道交流大会小学
 5年女子組手優勝)・大輪咲奈(下
 境・第37回栃木県空手道錬成大会
 小学2年女子組手優勝)
【バスケットボール】小林理奈(金
 井)・田代七海(上川井)、高久蒼
 衣(滝田)(平成30年度全国高等学
 校総合体育大会バスケットボール
 競技大会県予選会矢板中央高等学
 校女子バスケットボール部優勝)
【サッカー】FCバジエルボ那須
 烏山(第25回全国クラブチーム
 サッカー選手権栃木大会優勝)

小学校・幼稚園・保育園で

秋の 運動会盛んに

秋本番を迎え、市内の小学校・幼稚園・保育園で運動会が開かれました。保護者や地域住民が見守る中、子どもたちはダンスや徒競走などの練習の成果を、元気いっぱいに発揮しました。

その中から、いくつかの運動会を写真で紹介します。

①②荒川小学校 ③④七合保育園 ⑤⑥烏山聖マリア幼稚園 ⑦⑧にっこ保育園 ⑨⑩烏山みどり幼稚園。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑨



⑧



⑩

実りの秋がやってきた！

子どもたちがサツマイモを収穫

市内の若手農業者で構成される那須烏山市青少年クラブ協議会（山口喬亮会長）では、10月9日(火)につくし幼稚園の園児80人を、17日(水)にこここ保育園の園児57人と子育て支援センターの22人を森田の畑に招待し、サツマイモ掘り体験を開催しました。

5月に園児たちが植えた苗は大きく育ち、当日は、一生懸命にサツマイモを掘る園児の姿が見られました。その様子を写真で紹介します。



①～④にこここ保育園
⑤～⑨つくし幼稚園。

美しい メロディー響く♪ 南那須地区 音楽祭

10月2日(火)、那珂川町のあじさいホールで第13回南那須地区音楽祭(同実行委員会主催)が開かれ、南那須地区の13の小・中学校の児童・生徒が参加しました。

この音楽祭は、小・中学校の合



烏山中による合奏。

奏・合唱部が、日頃の練習の成果を発揮する場として毎年行われているもので、優秀賞に入選すると、栃木県学校音楽祭中央祭の出場権を獲得することができます。

当日は、各校とも素晴らしい演奏を披露し、美しいメロディーをホールいっぱい響かせました。

また、一般参加の合唱・合奏でも、地域のコーラスグループなど5団体が参加し、練習の成果を披露しました。

本市からは、合唱で烏山中・南那須中、合奏で江川小・烏山小・烏山中が、10月23日(火)、29日(月)、30日(火)に開催された中央祭に出場しました。



歌えパンパンによる合唱。

リンク栃木ブルックス ユースチーム(U15) 横山さんと永井さんが全国優勝

8月15日(水)から17日(金)にかけて、東京都大田区総合体育館で開催された「B・LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2018」に栃木ブルックスU15に所属する烏山中3年の横山峻さん(南1丁目)と2年の永井学翔さん(三箇)が出場し、全国優勝を果たしました。

2人は、小学3年生から烏山リトルディップーズでバスケットボールを始め、現在は週5回ブルックスのユースチームの練習に

参加し、プレーを磨いています。

今回の成績を受けて、横山さんは、「優勝できてとても嬉しかったです。今回の優勝に満足せず、次の大会や高校、大学に進学しても活躍できるように頑張りたい」。永井さんは、「チームみんなで一丸となりプレーし、優勝することができたのでよかったです。来年は連覇できるように練習を頑張りたい」と次への意気込みを語りました。

また、横山さんは、チームを盛り上げ優勝に貢献したとして、大



左から永井さん、横山さん。

会中最も印象に残った選手に贈られる、MIP賞を受賞しました。

境小と江川小の児童が 交通安全教室で交通ルールを学ぶ

9月26日(水)、27日(木)に、市と包括連携協定を締結しているNEZAS(ネザス)ホールディングスとの協定の一環として、烏山自動車学校で「交通安全教室」が開かれました。

この教室は、子どもに対する交通事故防止のために行われているもので、26日には境小の2年生から4年生までの児童49人が、27日には江川小の1年生から2年生までの児童54人が参加しました。

当日は、交通安全クイズや反射材手作り体験、自動車シミュレーター体験などが行われました。

自動車シミュレーター体験では、自動車運転者の視点や死角を確認することで、歩行・自転車運転時の事故防止について考えました。

また、烏山自動車学校指導員による急ブレーキや雨の日のカーブ走行などの自動車運転デモも行われ、児童は交通安全に対する意識を高めました。



シミュレーターを見学する江川小児童。

自転車の安全な走行方法を競う 高齢者自転車大会で4位に入賞

高齢社会を迎え、高齢者の自転車事故が多発している現状から、交通安全の意識の高揚と運転技能の向上を図り、交通事故を防止することを目的に毎年開催されている「栃木県交通安全高齢者自転車大会」が、10月12日(金)、鹿沼市のTKCいちごアリーナで開催されました。

大会では、4人1チームで、差点の安全な曲がり方や狭い道を走行する場合のバランスなどの技能がテストされました。

那須烏山市からは交通安全協会



荒川中央支部のみなさん。

荒川中央支部が会場し、初めて4位入賞を果たしました。

熊田太々神楽と興野さら獅子舞

伝統の舞を披露

■熊田太々神楽

市無形民俗文化財指定の「熊田太々神楽」が、10月14日(日)、熊田西公民館で行われ、地域住民の前に、「総禮舞」「住吉舞」「岩戸正開舞」など10の舞を披露しました。

熊田太々神楽は明治12年頃に斉藤継定神宮と熊田素菊神宮が習得した舞を熊田の有志に教え

大変ですが、一生懸命演じているので、伝統ある郷土芸能を楽しんでもらいたい」と話していました。

■興野さら獅子舞

市指定無形民俗文化財の「興野さら獅子舞」が、10月21日(日)、日枝神社と興野集会所で披露されました。

約180年の歴史がある興野

求職者と企業の未来をつなぐ

合同就職説明会・面接会

市地域雇用創造協議会では、ハローワーク那須烏山と共催で「那須烏山市合同就職説明会・面接会」を、9月14日(金)、風月カントリー倶楽部で開催しました。

この事業は、雇用機会が不足している地域において、自治体や地域の関係者の創意工夫や発想を活かして雇用を創出する「実践型地域雇用創造事業」の一環で、ハローワーク那須烏山や各企業と連携しながら本市の雇用情報・企業情報を提供し、求職者が市内事業

所などへ就職する機会を提供しています。求職者は、参加することで複数の事業所へ直接相談できる利点があり、事業所にとつても求職者へ広くアピールできるほか、多様な人材の中から採用する機会を得ることができます。

平成25年度から開催し、9回目となった今回は、市内の製造業や運送業、介護事業など19事業所が参加しました。当日は、53人の求職者が事業所の説明を受け、採用担当者との面接を実施するなど熱心

採用担当者との面接を行う参加者。



に就職活動を行い、17人の就職につながりました。

南那須中と烏山中で学校祭

10月6日(土)、南那須中と烏山中でそれぞれ学校祭が開かれ、保護者や地域住民、卒業生が訪れました。両中学校では、少年の主張や英語スピーチの発表が行われたほか、平和式典派遣事業報告、合唱コンクール、全校合唱、有志の発表など様々な催しが行われました。

特に盛り上がりをもせた合唱コンクールでは、クラスごとに練習の成果を発揮し、美しい歌声が体育館いっぱい響きわたりました。



南那須中学校。



烏山中学校。

たのがきっかけといわれています。31の舞があり、全てが口頭伝承で会員の長男にのみ受け継がれてきましたが、後継者不足などにより、現在は熊田太々神楽保存会を中心に技術が受け継がれています。

今回披露された舞のうち、「大蛇退治舞」では新しく道化役が2人加わり、コミカルな動きで観客を笑いの渦に巻き込みました。

また、「神子舞」を舞う小学2年生から5年生女子5人のほか、今年は、小学5、6年生男子4人が太鼓を練習し、成果を発揮しました。

熊田太々神楽保存会の木村喜一会長は「舞を演じる人の高齢化は避けられない問題で、年々

さらさら獅子舞は、三頭の獅子が笛の音に合わせて、腰太鼓を打ちながら舞うもので、今年の獅子は、地元の小学6年生の石川大介さん(牡獅子)、高野裕翔さん(中獅子)、荒井港成さん(牝獅子)が務めました。

舞には「おかめ」や「ひよつとこ」などの道化も登場しました。ひよつとこの1人を演じた高野健一さんと中獅子を演じた高野裕翔さんは親子で共演し、勇壮な舞を披露しました。

興野さらさら獅子舞保存会の小森幸雄会長は「各々の地区において、舞を演じる子どもたちが少なくなってきたが、伝統を絶やさないためにも、興野地区全体で協力し合って継承していきたい」と話していました。



熊田太々神楽。



興野さらさら獅子舞。

創立70周年記念

鳥山図書館まつり開催

10月20日(土)、創立70周年を記念して、鳥山図書館で「鳥山図書館まつり」が開催され、地域住民636人が訪れました。

同図書館は、昭和23年11月3日に、県内2番目の町立図書館として旧鳥山町役場の裏手に建設されました。その後、複数回にわたり場所を移転し、昭和52年に鳥山町立図書館が現在の場所に新築されました。

また、昭和56年には、鳥山郷土資料館を含む、書庫と学習室の増築工事が完了し、現在の図書館となりました。

図書館まつりでは、わなげや射的ゲーム、図書などを無料で配布



たんぽぽによる絵本の読み聞かせ。

するリサイクル市、抽選会、民話の語りなど様々な催しが行われたほか、同図書館ボランティア「たんぽぽ」によるハロウィン仕様のおたのしみ会も開催され、好評を博しました。

おたのしみ会では、「いたずらジャック」、「ぬすまれたパンプキンパイ」など、ハロウィンがテーマの絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアター、ジェスチャーゲームが行われ、参加者を楽しませました。また、同会の最後には、おたのしみ企画として子どもたちにお菓子が配られ、「トリックオアトリート！」という元気で楽しい声が入館に響きわたりました。



わなげゲームをする子どもたち。

お茶をしながらこれからの市について意見交換をする川俣市長と鳥山高の生徒。



市長とお茶をしながら話そう！ 鳥山高の生徒が市の未来を考える

市では、10月23日(火)、広聴事業の一環として、鳥山高の生徒と川俣純子市長との懇談会「市長とお茶をしながら話そう」を、中央3丁目の「cafe&dining ふじや」で開催しました。

懇談会には、同校の生徒会役員9人と川俣市長、市職員が参加。川俣市長を囲み、生徒たちから「鳥山の高校生ができる伝統行事」や「那須鳥山市内にある空き家の有効活用について」などの質

問が出され、お茶をしながら和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われました。

同校2年で生徒会長の桐原倫太郎さんは、「市のことを楽しく知ることができよかった。今日の話を学校に持ち帰り、ほかの生徒にも話したい」と笑顔を見せました。川俣市長は、「那須鳥山市を、思い出のまちと思えるよう、楽しい高校生活を送ってください」と話しました。

シリーズ 市の文化財 第90回

市指定天然記念物

国見大久保のユコウ(小木須)



国見地区は、観光ミカン園があり、ミカン栽培が盛んな地域です。ユコウ(柚柑)は、柚と蜜柑の自然交雑種といわれるかんきつ類で、古くから徳島県や高知県で栽培されています。国見大久保のユコウは、樹高6m、胸高直径28.7cm、枝張り東西6m、南北6.4m、推定樹齢250年といわれています。現在の所有者から数えて9代前の当主が金比羅・八十八ヶ所参りの際に四国から種子を持ち帰り、播種したものを現当主の曾祖父が分家する際に現在の地に移植したと伝えられています。この木は、樹齢が古く貴重であることから、市の天然記念物に指定されています。

在宅医療のあれこれ Part 7

那須南病院(医療福祉相談・医療連携室)

当院は県北地区の二次救急病院です。二次救急病院とは、入院治療が必要な患者さんや急病の患者さんを受け入れる病院を言います。

高齢化に伴い、医療を必要とする人が増えていることから、「医療福祉相談・医療連携室」では入院が必要な患者さんが安心して治療し、スムーズに退院できるようお手伝いしています。

連携室は総合受付の左側にあり、6人のスタッフが下記の2つの部門を担当しています。入退院に関する不安や心配な点がありましたら、お気軽にご相談ください。

①入退院支援部門(4人)

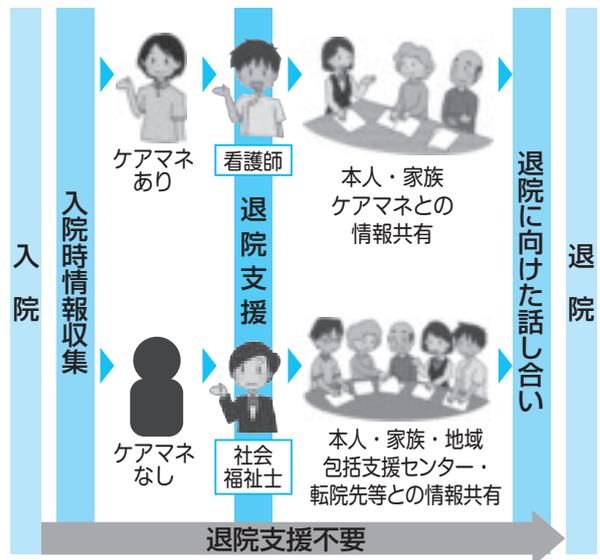
入院前の面談で入院までの経過や生活状況を伺い、不安などがあれば他職種と相談をして、安心・安全な入院を送るための支援をします。また、退院に向けケアマネジャーとの情報共有や多職種の人を含めた話し合いを行い、退院に向けての準備を行います。

②地域連携部門(2人)

MSW(社会福祉士)と認知症認定看護師が患者さんやご家族の相談を受けたり、当院と他の病院間の転院相談、施設からの入院相談などを行っています。

退院はゴールではなく、新たなスタートです。今後も、地域の拠点病院として、相談や受診しやすい環境を整え、地域のみなさまに親しまれる病院づくりを目指していきます。

退院支援システム



消費者コラム⑩

消費者ほっと♥らいふナビ

知っておきたい食品の表示④

近年、先進国で食物アレルギーは増加傾向にあり、大きな社会問題となっています。食物アレルギーとは、食品に含まれる物質を体が「敵」と判断し、自分の体を守るために過敏な反応を起こすことを言います。食物アレルギーの症状としては、かゆみや吐き気、下痢などがあり、対応が遅れると命に関わる重篤な症状もあります。

そのため、食品による健康被害を防ぐために、容器包装された加工食品には、アレルギーの原因となる物質(アレルゲン)を表示することになっています。

【表示されるアレルギー物質】

過去の健康被害の程度、頻度から、特にアレルギーを起こしやすい以下の食品について表示されています。

必ず表示される7品目	卵、乳、小麦、落花生、えび、そば、かに
表示が勧められている20品目	いくら、キウイフルーツ、くるみ、大豆、カシューナッツ、バナナ、やまいも、もも、りんご、さば、ごま、さけ、いか、鶏肉、ゼラチン、豚肉、オレンジ、牛肉、あわび、まつたけ

【アレルギー表示の方法】

①個別に表示

原材料名：じゃがいも、にんじん、ハム(卵・豚肉を含む)、マヨネーズ(卵・大豆を含む)、たんぱく加水分解物(牛肉・さけ・さば・ゼラチンを含む)／調味料(アミノ酸等)

②一括して表示

原材料名：じゃがいも、にんじん、ハム、マヨネーズ、たんぱく加水分解物／調味料(アミノ酸等)、(一部に卵・豚肉・大豆・牛肉・さけ・さば・ゼラチンを含む)

平成14年4月より、左記の食品が微量でも含まれる場合は、原材料表示されるようになりました。ただし、表示の対象は容器包装された加工食品のみで、店頭販売や外食は対象外です。

食物アレルギーを持つ人が、安心・安全に食べることのできる食品を選べるように、店頭販売や外食においても、自主的な取り組みが促されています。

那須烏山市消費生活センター(烏山庁舎1階、商工観光課内)

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00~12:00、13:00~16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン ☎188(局番なし)」へご相談ください。

NPO法人クロスアクションによる朝市

生産者と消費者をつなげる

9月29日(土)、NPO法人クロスアクション(高橋誠一代表)では、JR烏山駅前広場で「烏山駅前朝市」を開催し、地域住民約300人が訪れました。

これは、市内で生産されている農産物をPRするとともに、生産者自らが出店することにより、生産者と消費者のつながりや交流の場を作ることを目的に今回初めて開催されたものです。朝市には、クロスアクション

をはじめとして、婦農士塾や興野農産物直売所などの地元生産者により9店舗が出店され、那須烏山市産の農産物やそれらを使用した飲食物の販売を行いました。

高橋さんは、「今後は、老若男女が楽しめるイベントを開催し、市内で採れたものを使い地域活性化を行っている生産者をもっとたくさんの人に知ってもらいたい」と話していました。



JR烏山駅前広場を活用し開催された朝市。

滝田本郷いきいきクラブが

グラウンド・ゴルフで県大会優勝

10月10日(木)、「平成30年度栃木県老人クラブ連合会スポーツ大会」が真岡市井頭公園で開催されました。

大会では、那須烏山市いきいきクラブの代表として出場した滝田本郷いきいきクラブが、準優勝の矢板市富田シニアクラブに11打差の357打で勝利し、優勝を果たしました。

現在市内では、スポーツをすることで健康増進につなげよう

と、31のいきいきクラブが活動しています。

今回、優勝した滝田本郷いきいきクラブは、週3回大桶運動公園で練習に励んでいます。

監督を務めた高徳宗光さんは、「昨年は5位だったので、優勝できて嬉しかった。リラクセスして楽しく競技することができたのでよかったと思う。来年は、連覇を目指したい」と話していました。



左から、栗田さん、高徳さん、滝田さん。

旭の池沢勝久さん

満100歳おめでとう！ごじぎひます！

旭1丁目の池沢勝久さんが、10月10日(木)、満100歳を迎えました。

池沢さんの趣味は、畑仕事で、天気がいい日には畑に行き、じゃがいもやほうれん草、人参、たまねぎなど様々な野菜を作っているそうです。また、大勢のひ孫と会うことも楽しみの1つで、遊びに来てくれるのをいつも心待ちにしているそうです。

長寿の秘訣を聞くと、「物事にくよくよせず、勝気であること」と笑顔を見せていました。



100歳を迎えた池沢さん。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112

「山あげ」を季語として全国に！ 第2回山あげ俳句全国大会

那須烏山市山あげ俳句全国大会（同実行委員会主催）が、10月21日(日)に烏山公民館で開催され、県内外から約1000人が参加しました。

この大会は、平成28年12月に「烏山の山あげ行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念し、「山あげ」を季語として

俳句大会上位入賞者

「自由題」推薦

- 黒田杏子 選 「栃木県知事賞」
好物を全て揃えた盆支度
小杜芳野(高根沢町)
- 今瀬剛一 選 「那須烏山市長賞」
水底は連なりてをり水芭蕉
山村ノリ子(那須烏山市)
- 山崎聰 選 「山あげ俳句大会実行委員長賞」
狐火や石垣残る城の跡
常磐津津紫摩(東京都)
- 速水峰邨 選 「朝日新聞社賞」
父祖の地よ那珂川に桃ひたしけり
川俣明美(東京都)
- 【席題】推薦
- 黒田杏子 選 「栃木県知事賞」
城跡は磁石月光密集す
石倉夏生(栃木市)
- 今瀬剛一 選 「那須烏山市長賞」
秋うららひときは高く城の跡
益子須美子(茨城県)
- 速水峰邨 選 「栃木県俳句作家協会会長賞」
蛇穴に入る山あげ祭見盡くして
大貫瑞子(宇都宮市)
- 最東峰 選 「下野新聞社賞」
臥牛城六百年の夏木立
田村美江子(福島県)

者によって行われました。昼食時には、烏山中学校郷土芸能部によるお囃子の演奏や烏山語りの会による民話の語りが行われ、参加者を楽しませました。



4人の選者による講評。

第40回川柳大会 たくさんの名句が誕生

10月6日(土)、南那須川柳会(篠崎酔月会長)による「第40回川柳大会」が保健福祉センターを会場に開かれ、県内外から65人が参加しました。

今大会では、事前に出される宿題として、「山」「静」「太」「古」「二」「多」「利」の7題が出題されたほか、その場で出される席題には「鳩」が出題され、川柳愛好家らが腕を競いました。

披講では、各題の選者が参加者から投げられた句を採点順に読み上げました。参加者がひねり出し



投げられた句を読み上げる選者。

秋の七草をテーマに生け花30点を展示 小原流・小さな花展

華花の会(鈴木光子代表)では、10月16日(火)、9回目となる「小原流・小さな花展」を南那須公民館で開催しました。

展示会では、同会員らによって生けられた生け花30点が展示され、市内外から訪れた135人を楽しませました。

また、同会員5人により、「小さい秋見つけた」や「赤とんぼ」

など8曲のオカリナの演奏が行われ、訪れた人々もメロデーに合わせ一緒に歌い、楽しい時間を過ごしました。

鈴木代表は、「今回は、秋の七草をテーマに、見慣れた風景の中の植物を生けた。みなさんにも、足元に咲いている花を部屋や玄関など身近に生けて楽しんでほしい」と話していました。



展示された花を楽しむ来場者。

おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 藤井建 吾(雅也・真樹子) 鴻野山
 糸井涼 乃(貴弘・鮎美) 三箇
 荒井優(心・洋行・純子) 神長
 菊地紅羽(貴昭・美里) 金井2丁目
 菊池星奈(佳汰・沙也香) 小倉
 中村浩太郎(泰徳・真紀) 森田
 堀井彩楓(拓哉・彩乃) 宇井
 小川琴子(佳彦・裕美) 藤田
 小池翔真(佑亮・加保莉) 福岡

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●第14回市民ソフトボール大会(9月3日(月)～6日(木)、緑地運動公園)
 ▼優勝：こぶし台 ▼準優勝：藤田 ▼第3位：荒川南、川井

●第10回那須烏山支部秋季野球大会(9月2日(日)、9日(日)、16日(日)、緑地運動公園、大桶運動公園)
 ▼優勝：烏山RED・SOX ▼準優勝：侍 ▼第3位：南大和久、烏山ヤンガース

●第10回栃木県空手道少年秋季大会兼第13回全国中学生空手道選抜大会県予選(9月23日(日)、大田原市県北体育館)

【団体の部】「小学1～2年生組手」▼準優勝：白聖会A(天輪咲奈、荒井斗真、齋藤陽)

●第15回JKFAn杯武蔵国空手道親睦大会(9月30日(日)、アスカル幸手)

「小学5年生女子組手」▼準優勝：大輪

莉央奈(白聖会空手道)
 「小学2年生男子組手」▼第3位：荒井斗真(白聖会空手道)

ふるさと応援寄付金

山本峻輔様(さくら市)、崎村幸多様(千葉県船橋市)から5千円、櫻井次雄様(大田原市)、鈴木武夫様(宇都宮市)、古橋新作様(千葉県白井市)、杉崎克行様(神奈川県平塚市)、田代京子様(茂木町)から各1万円、

賞

羽鳥広宣様(東京都港区)から8万2千円、米山睦夫様(神奈川県横浜市)から10万、匿名希望者様39人から計70万円が本市に寄附されました。

●栃木県歌人クラブ第23回優秀歌集賞
 ▼「山峡」：澤村孝夫

●日本歌人クラブ北関東ブロック優良歌集賞
 ▼「春落葉」：滝口節子

大桶下自治会防災会が防災訓練

大桶下自治会防災会(小原澤文雄会長)による防災訓練が、10月14日(日)、大桶下公民館で開かれ、地域住民約50人が参加しました。

訓練では、南那須地区広域行政事務組合消防本部職員を講師に迎え、地震発生を想定した救助訓練や煙体験、消火器と自動体外式除動器(AED)の使い方を学びました。

また、大桶下自治会員高野安広さんによる「東北震災から学んだこと」と題した講話や炊き出し訓練なども行われました。

小原澤会長は、「災害はいつどこで起こるか分からない。防災意識を高め、万が一の災害に備えられるよう、地域で引き続き訓練を行ってきたい」と話していました。



水消火器による消火訓練。

編集後記

○だんだん肌寒くなってきましたね。朝の寒さに耐えられず布団からなかなか抜け出せなくなってきました。まだ11月なのに：今年の冬はどうなることやら。でも、空気が澄んで星が綺麗に見えたり、温泉に行つてゆっくり温まったりできるので、寒くなるのがちよっぴり楽しみだったりもします。(星が綺麗なのは田舎の特権かな?) 今年の冬は、寒さに負けずに去年より外に出て、冬を満喫したいと思います。

●お久しぶりです！Cです！編集後記に登場するのは4か月ぶり。実は私事ですが：母になります！ということ、Oさんにバトンタッチし、しばらく産休・育休をいただきます。広報を担当して5年半。たくさんの方にお世話になりました！ちよっぴり寂しいですが、お休み中は取材ではなく、お客さんとして行事に参加しようと思えますので、お会いした際はよろしくお願いたします！復帰後の配属先はまだ分かりませんが、またどこかでお会いしましょう★サンキュー(産休)！あれ？すべった？笑

Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

★一般図書★

『1分間菜根譚』 齋藤 孝
『チキンラーメンの女房』 安藤百福発明記念館
『私は、看取り士。』 柴田 久美子
『あなたは、うで体？あし体？』 鴻江 寿治
『楽しく百歳、元気のコツ』 吉沢 久子
『思い出が消えないうちに』 川口 俊和
『ことことこーこ』 阿川 佐和子
『銀河食堂の夜』 さだ まさし
『ある男』 平野 啓一郎

★児童図書★

『新しい心のバリアフリーずかん』 中野 泰志
『日本のロボット』 奥村 悠
『ぼうけんはバスにのって』 いたう みく

『リスのたんじょうび』 トーン テレヘン
『かんけり』 石川 えりこ
『おほしさまのちいさなおうち』 渡辺 鉄太
『どうぶつどんどん』 たしろ ちさと
『にげろ！ケロケロ』 広瀬 克也
『おかしとおうちくれませんか？』 せき ゆうこ

★CD★

『海のOh,Yeah!!』 サザンオールスターズ
『マン・オブ・ザ・ウッズ』 ジャスティン・ティンバーレイク
『スイートナー』アリアナ・グランデ
『おしりたんてい』 伊勢大貴ほか
『三遊亭兼好落語集お囃し問屋』 三遊亭 兼好

2018.10.1現在
()対前月比

人口 25,718(-30)

男 12,750 女 12,968

出生 10 死亡 28

転入 36 転出 48

世帯数 9,374

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

文芸コーナー★

俳句

井戸水を透かし明月すまし願 大森フサオ(宇井)
手のひらをゆするコスモス手話の返ゆ 西森 一雄(南大和久)
最終の烏山線月天心 柳 つしま(中央)
秋憂ひ平和な町に大地震 塩坂美枝子(南大和久)

川柳

侘しさは独り酒では失せもせず 篠崎 酔月 選
山百合が匂いをくれた墓参り 森 豊(中山)
夫との信濃の旅が蘇り 石原 紀男(中央)
安心と安全がある直売所 山本 愛子(下川井)
荻野目香津(中央)

短歌

ぼうじばを打つならわしの無くなれど盈る光 福澤 悦子 選
は永遠に変らず 石川 ミチ(大桶)
秋晴れの稲刈り始動 秋香る新米秋刀魚食欲 清水 利夫(志鳥)
誘う 清水 利夫(志鳥)
墓守の居ぬ墓に十葉蔓延す真白き花の中に母 川俣登志子(旭)
眠る 川俣登志子(旭)
秋の風過ぐる狭庭の幽けきに灼灼交ゆる彼岸 三森 純子(中央)
花寂し

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

／ほつとニユース！／

地域住民がボランティアで
台風被害を受けた
家屋を補修

9月21日(金)に発生した、台風24号の影響により、中央1丁目の茅根由美子さんの宅の屋根がはがれてしまったのを、地域住民などのボランティアにより、補修作業が行われました。茅根さんは、1人暮らしのため、なかなか修理ができず困っていたところ、地域住民が援助を申し出てくれたそうです。このような地域の暖かい輪が広がっていくといいですね。



補修作業を行うボランティアのみなさん。

シリーズ 烏山高校ってこんなところ！～地域連携活動編⑦～

烏山城築城600年記念イベント

10月14日(日)に、烏山高校金井キャンパス体育館で「烏山城築城600年記念イベント」が開催されました。

イベントでは「烏山学+」共通プログラム「烏山城を知る」を通して烏山城に興味をもった有志生徒がボランティアとして、総合司会を担当しました。また、まちづくり研究会の生徒が、烏山城についてこれまで調べてきたことを発表しました。

大きな舞台上で今までの研究の成果を見事に発表できて大きな自信につながりました。また、発表後の花束贈呈では、ゲストの春風亭昇太さんと直接話をする事ができ、非常に良い経験となりました。



生徒の声 2年 新井葉名さん (中央)

私は、烏山城築城600年記念イベントで烏山城を中心とした烏山の歴史について調べたことを発表しました。

事前の調査では、烏山城があったときの烏山の地図を見ながら町中を歩き、当時あった道路でまだ残っているものについて調べたり、町の名前でまだ残っているもの、変わってしまったものについて調べたりしました。また、その際に学芸員から烏山の町が城を守るためにどのようなしくみになっていたのかについて説明を聞きました。

イベントで発表をして、イベントに参加した人々や春風亭昇太さんが興味深そうに聞いてくれてうれしかったです。烏山の魅力をより多くの人に発信していくためにも、今後もこういった活動に参加していきたいです。



那須烏山ジオパーク構想だより ⑱

「見どころ紹介」

烏山八景の1つ、興野の平群山

平群山は、興野大橋を東側へ約1km進んだ八溝山地に位置し、穿入蛇行地形・河岸段丘川風(上昇気流)を利用した、パラグライダー・ハンググライダーなどのスカイスポーツを楽しむことができます。そんな観光地としての魅力を持つ平群山も、ジオサイトの1つです。

那珂川の侵食によって形成された地形が遠望でき、那珂川の蛇行も観察することができます。

烏山市街地は那珂川の河岸段丘面の上に広がっており、周囲を段丘崖に囲まれているのですが、山頂付近には中生代ジュラ紀の砂岩が露出しています。この山は、あまり高い山のない那須烏山市内では有数の眺望良好な場所であり、長い歳月と自然が作り出した景色を最高点248.5mから眺めることができます。

那珂川の清らかさや自然の美しさに癒されながら、ジオの歴史を感じてみてください。